

科目名 看護研究	配当時期 2年次 前期	講義担当者	
時間割表記名 看護研究	単位数 1単位	沼田 裕美	
	時間数 30 時間(15 回)	田中 紀代美	
事前学習内容			
講義内で指示された内容を行う。			
授業目標			
1. 看護における研究の意義とその必要性、看護研究の種類と方法を理解できる。			
2. 看護研究を分析的に読むための知識・技術を学び、看護研究を科学的な視野で評価し活用できる能力を養う			
3. 文献検索の方法、研究計画書の作成、論文の構成・書きかたを理解し、研究のプロセスに沿って研究を行うことができる。			
DPとの関連			
DP3. 一人ひとりの多様な価値観や人権を尊重し、倫理観に基づいて看護を実践できる。			
DP6. 専門職業人としての責任を自覚し、広い視野にたつて物事を考え、自己研鑽することができる。			
授業の流れ			
回	学習内容	方法	備考
1	1. 看護研究の意義、必要性 1)看護研究の目的・効果 2)価値から研究的姿勢 2. 看護研究の種類と方法 1)研究の種類 文献研究、調査研究、疫学研究、実験研究、事例研究 2)研究の性質 質的研究方法、量的研究方法 3)研究のデザイン 3. 研究者倫理	講義	テキスト①資料
2	3. 看護研究のプロセス	講義	テキスト①資料
3	1)文献検索 文献検索の実際、文献カードの作成 2)リサーチクエスチョン	演習	
4	4. 研究計画書の作成 1)研究計画書の要素 2)倫理的配慮 看護研究の指針となる倫理の原則 研究プロセスで求められる倫理的配慮 研究の同意書に含む内容 3)データの種類とデータの収集方法 観察法(参加観察法、非参加観察法) 質問紙法(郵送法、留置法、集合法)	講義	テキスト①資料

	面接法(構造的面接法、半構造的面接法、非構造的面接法)		
5	5. クリティーク	講義	テキスト①資料
6	1)クリティークの目的、方法	演習	
7	2)クリティークの実際		
8	6. 研究論文の書き方		
9	7. 研究計画書の作成	講義	テキスト①資料
10		個人ワーク	
11	8. データの分析方法	講義	テキスト①資料
12	1)検定の考え方	演習	
13	2)仮説、帰無仮説の考え方		
14	9. 統計学的方法によるデータの処理 (Excelの基本的操作方法を含む)		
	1)データ処理の考え方・方法(量的データ)		
	①集計表を作る		
	②グラフを作る		
	2)看護研究で使う基本的な統計法と結果の見方、読み方 単純集計, 相関関係, t検定, 回帰分析		
	10. 研究結果を伝えるためのプレゼンテーション (プレゼンテーションの方法)		
	1)発表スライドのつくり方		
	2)発表するポスターのつくり方		
15	研究計画書の発表	発表	テキスト①資料
受講上の注意 ○統計学的方法や研究計画書はじめ論文作成など文章を書く機会においては、1 年次履修科目「情報科学」「文学」で学んだことを活用する。 ○リサーチクエスションでは、文献カードの作成、文献検討を行う。 ○研究計画書を作成する段階ではループリックを参考にし、適宜指導を受けながら進めていく。 ○2年次に事例研究の研究計画書を作成し、3年次の看護研究へとつなげていく。			評価方法 研究計画書 レポート
使用するテキスト ①系統看護学講座 別巻 看護研究 医学書院 参考文献 ①黒田裕子の看護研究Step by Step, 医学書院 ②看護における研究, 日本看護協会出版会, 看護学のための多変量解析入門, 医学書院 ③ひとりで学べる看護研究, 照林社			